

地元の食材を用いた、地元住民による「新特産品（メニュー）開発」



「小坂スタイル」プロジェクトの一環として、地元の食材を見直し「小坂にしかない、小坂でしか食べられないメニュー」の開発を目的に、地元住民を中心とした一般の方々から、各家庭に昔から伝わる自慢料理やおやつ、アイデア料理を募集しコンテスト形式でメニュー開発を行なう「小坂の味とこんにちは」を開催。受賞料理は、小坂の観光スポットや飲食店のメニューとして定番化されています。

また、揖斐川(岐阜県)源流で採れる食材を使った新たな特産品の開発を目的に、まずは地元の方々に地元の山菜・野菜の魅力を知ってもらおうと、参加者に調理体験・試食をしてもらう「新特産品づくり体験会」を開催。その場で、参加者から評価・改善点のアドバイスなど生の声を直接吸い上げ、新たな特産品のブラッシュアップにつなげる試みを行ないました。

